

## CCM/STAR ワーキンググループ 企画書

### (1) ワーキンググループ(WG)の名称

CCM/STAR ワーキンググループ (CCS/STAR WG)

### (2) ワーキンググループの目的

CSA グローバルの Cloud Control Matrix (CCM)の日本語化について、その監修および一般への公開を行う。また、日本語版をベースに、日本の法令、標準、基準の CCM へのマッピングを行うと共に、日本における CCM の展開のための啓発活動を推進することを目的とする。

日本における STAR 認証の普及を推進する。また、27017 等のクラウドセキュリティに対する STAR の位置づけを明確化するために、CSA 本部と協調して活動する。

なお、本 WG は、既存の CCM WG と STAR WG を統一する。

### (3) ワーキンググループの調査研究対象範囲または対象とする項目

本ワーキンググループは、CSA グローバルの CCM を元に、以下を対象とする。

#### ①CCM/CAIQ の日本語化、および、日本語版の監修

- ロードマップ： CCM/CAIQ4.0 (英語版が公開され次第)

#### ②CCM の日本の法令、標準、基準へのマッピング

#### ③CCM のガイドラインの作成

#### ④CCM の日本における啓発活動の実施

#### ⑤CSA グローバルの CCM に対する日本の視点に立ったピアレビューの実施およびフィードバックの提供

#### ⑥CCM/CAIQ を用いた会員向け勉強会の実施

#### ⑦STAR 認証の説明として CSA 本部が提供しているドキュメントの翻訳および公開

#### ⑧日本語で STAR 認証(特にレベル 1 セルフアセスメント)が行える仕組み作りおよびその維持

#### ⑨STAR 認証を日本で広めるための活動。セミナーへの参加、STAR 認証ガイドンスの作成

#### ⑩STAR およびグローバルの観点から CCM の調査検討を行う。

### (4) ワーキンググループ・メンバー (敬称略、順不同)

WG リーダー： 諸角

WG メンバー： 山崎、勝見、有田、二木、羽田野、野々山、上村、最首、永島、小

川、谷本、中村  
事務局： 諸角

(5) ワーキンググループの活動予定期間

本ワーキンググループは、本設置企画書に定める成果物のために、2016年4月6日から2017年5月31日まで活動し、その時点で次年度活動の更新を検討するものとする。

(6) CSAのグローバル活動等との関連性の有無および内容

活動期間中、CSAのグローバルレベルで実施される定期ミーティング、ドキュメント類作成・ピアレビュー、イベント・PR告知等を積極的にサポートする。

本ワーキンググループにおけるコミュニケーションは、日本語および英語を使用する。

以上